

多職種協働による在宅医療・介護を担う人材育成事業及び

県民等に対する在宅医療・介護の必要性と重要性の理解を図る普及・啓発事業について

(県民が住み慣れた地域において、実情に応じた医療と介護を受けられる体制の構築を目指すため、次の取り組みを実施する)

1. 在宅医療・介護に携わる医師，看護師，ケアマネジャーなどが多職種で取り組むために，在宅医療・介護についての基本的知識や技術に関する事例検討・講義・グループワーク等を用いる研修を実施する。
2. 平成24年度に養成した地域リーダーを地域に根ざした人材とするため，市町村職員等も交えた「顔の見える関係づくり」を構築する。
3. 県民，医療・介護従事者，市町村職員等に対して，在宅医療・介護の必要性と重要性を理解してもらうため，先進事例等を通じた講演会，シンポジウム等を実施する。

	在宅医療・介護連携拠点の役割	保健所の役割	
		在宅医療・介護連携拠点を管内に <u>有しない</u> 保健所	在宅医療・介護連携拠点を管内に <u>有する</u> 保健所
事業概要	平成24年度に養成した地域リーダー等が中心となり，地域の実情に応じて，医療・介護・福祉を担う多職種に対して，在宅における多職種協働によるチーム医療を提供するための研修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・県民，医療・介護従事者，市町村職員等に対して，在宅医療・介護の必要性と重要性を理解してもらうため，先進地域の事例等を通じた講演会，シンポジウム等を実施する。 ・平成24年度に養成した地域リーダーを中心に地域に根ざした人材にしていくため，地域リーダーの「顔の見える関係づくり」を行う。 	
事業内容	在宅医療・介護連携拠点は，次の事業を実施 ア. 多職種同士の顔の見える関係の構築のための「きっかけづくり」として，意見交換会，協議会等を開催 イ. 地域課題を把握するための実態調査として，「医療・介護従事者」と「患者・家族」の両視点による調査を実施 ウ. 専門職種に対する資質向上のための「人づくり」として，研修会，勉強会，視察調査等を実施 エ. 地域における課題の共有，課題解消のための取組に対する認識，役割分担などを「見える化」するための「人材育成に係るテキスト」の作成 オ. 在宅医療・介護の理解を深めるために県民等に対する講演会，シンポジウム等の実施	ア. 県民，医療・介護従事者，市町村職員等に対する在宅医療・介護の理解を深めるための「意識づくり」として，講演会，シンポジウム等を実施 イ. 管内の地域リーダーを一堂に会する場を設定し，在宅医療・介護の研修を推進するため，市町村職員等も交えた意見交換会，研修会等を実施	ア. 管内の地域リーダーを一堂に会する場を設定し，在宅医療・介護の研修を推進するため，市町村職員等も交えた意見交換会，研修会等を実施 イ. 県民，医療・介護従事者，市町村職員等に対する在宅医療・介護の理解を深めるための「意識づくり」として，講演会，シンポジウム等を実施
エリア	基本的には市町村	管内市町村	
対象者	管内の県民，在宅医療・介護従事者，市町村職員等		

※保健所の取り組みにおいて，基本的には「ア」の事項を実施するものとするが，「イ」の事項についても可能な範囲で実施するものとする。なお，地域の特性に応じて，隣接する保健所が共同して実施しても差し支えない。